

# 中国人民元マネジメント債券ファンド (毎月決算型)

追加型投信 / 海外 / 債券

月次レポート 1/8  
2011年12月30日現在

## 【ファンドの特色】

- 中国の債券に投資しインカム・ゲインの獲得をめざすとともに、人民元のノン・デリバブル・フォワード取引(以下、「NDF取引」といいます)等を行い、信託財産の中長期的な成長をめざします。
- 中国関連発行体が発行する人民元建て以外の社債を中心に、人民元建て以外の中国の国債・金融債などに投資することもあります。
- 基本的に米ドル建ての中国債券に投資するとともに、ほぼ同額程度の人民元のNDF取引(人民元買い/米ドル売り)を行い、実質的に人民元のNDF相場の影響を受けるポジションを作ります。  
(米ドル建て以外の債券の場合も同様に、原則として、人民元買いのNDF取引を行います。)
- 実質的な運用は「CCBI China Value Bond Fund」(以下、「投資先ファンド」といいます)への投資を通じて行います(当ファンドはファンド・オブ・ファンズです。)
- 実質的に組入れる外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

## 【基準価額・純資産総額】

	2011/12/30	2011/11/30	前月比
基準価額	8,447円	8,455円	-8円
純資産総額	9.2億円	9.4億円	-0.3億円

\* 基準価額は1万口当たりとなっています。

## 【ファンドの騰落率(課税前分配金再投資)】

	1か月	3か月	6か月	1年	3年	設定来
ファンド	0.32%	5.12%	-8.07%	-9.75%	—	-12.92%

\* 騰落率を算出する基準価額は、信託報酬控除後、課税前分配金再投資基準価額です。

上記騰落率は、実際の投資家利回りとは異なります。

\* 「課税前分配金再投資基準価額」とは、基準価額に各収益分配金(課税前)を、その分配が行われる日に全額再投資したと仮定して算出したものであり、当社が公表している基準価額とは異なります。

\* 騰落率は各月末営業日で計算しています。

(各月末が休業日の場合は前営業日の値で計算しています。)

## 【分配金実績(1万口当たり、課税前)】

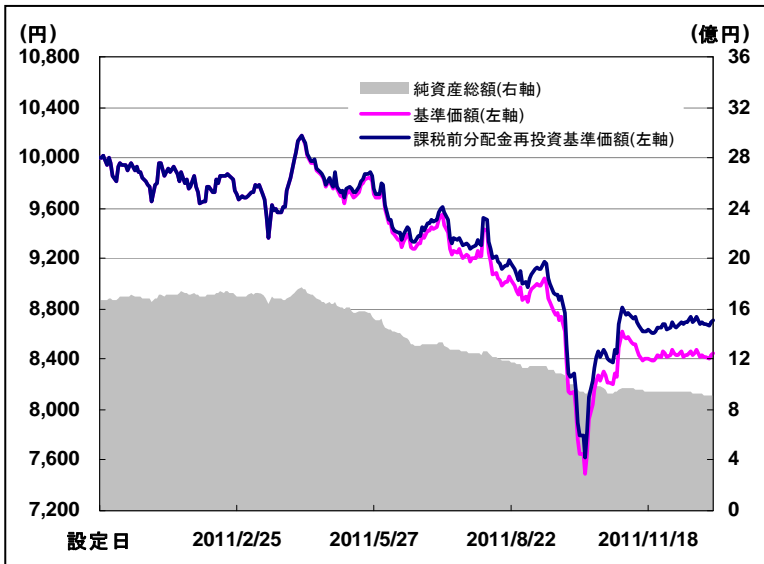
決算日	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期	第10期
分配金	0円	0円	0円	20円	20円	20円	35円	35円	35円	35円
決算日	第11期	第12期	第13期	第14期	第15期	第16期	第17期	第18期	第19期	第20期
分配金	35円	35円	—	—	—	—	—	—	—	—

設定日からの分配金累計	270円
-------------	------

\* 分配金は過去の実績であり、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

\* 分配金は一定の分配金額をお約束するものではなく、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

## 【基準価額・純資産総額の推移】



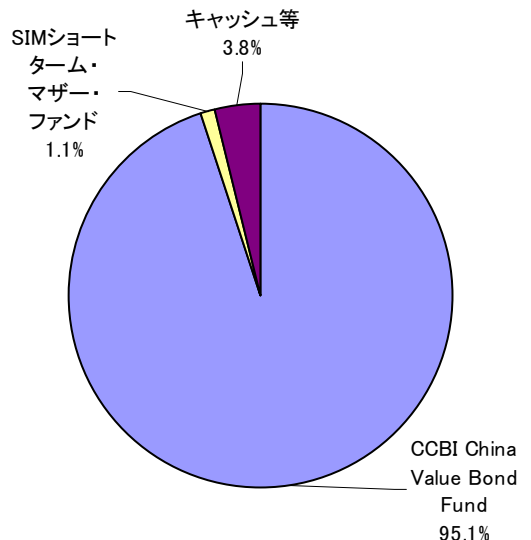
\* 基準価額は、信託報酬控除後、信託財産留保額控除前、課税前です。

\* 投資先ファンドの運用管理費用を含めた実質的な信託報酬率は、純資産総額に対して年率1.7895%程度(概算、税込み)です。詳細は、【お申込みメモ】の【信託財産で間接的にご負担いただく費用】の項目をご覧ください。

\* 「課税前分配金再投資基準価額」とは、基準価額に各収益分配金(課税前)を、その分配が行われる日に全額再投資したと仮定して算出したものです。

\* 上記グラフは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。

## 【運用資産構成比率】



\* 運用資産構成比率は純資産総額に対する評価額の割合で、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

\* 四捨五入の関係上合計が100%にならない場合もあります。

# 中国人民元マネジメント債券ファンド (毎月決算型)

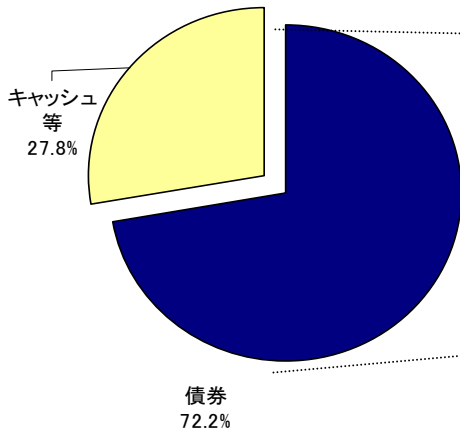
追加型投信 / 海外 / 債券

月次レポート 2/8  
2011年12月30日現在

## 【投資先ファンド(CCBI China Value Bond Fund)の状況】

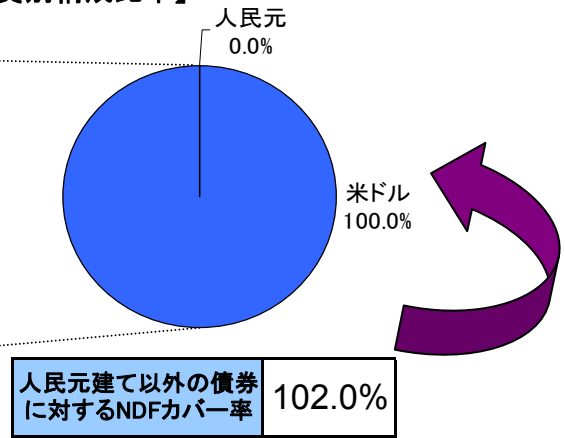
(ご注意) 以下のデータは当ファンドの投資先ファンドであるCCBI China Value Bond Fundに関するものです。以下のデータは現地月末最終営業日の数値を使用しています。

### 【運用資産構成比率】



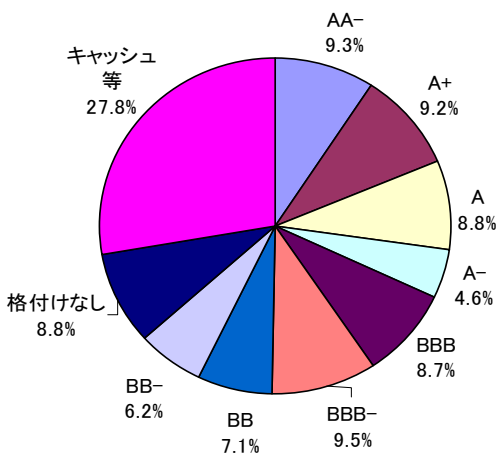
\* 運用資産構成比率は投資先ファンドの純資産総額をもとに算出した比率です。  
\* 四捨五入の関係上合計が100%にならない場合もあります。

### 【債券の通貨別構成比率】



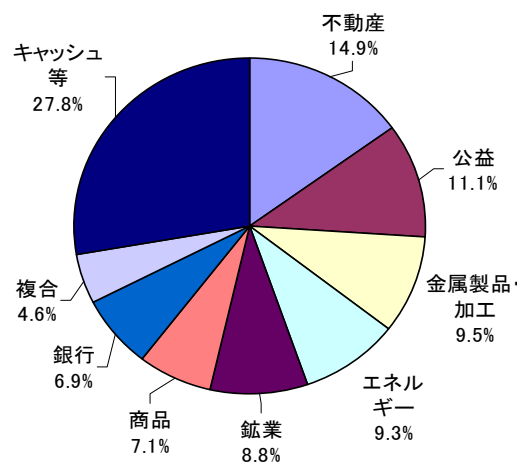
\* 債券の通貨別構成比率は投資先ファンドの債券保有部分をもとに算出した比率です。  
\* 四捨五入の関係上合計が100%にならない場合もあります。  
\* 人民元建て以外の債券に対するNDFカバー率とは、人民元建て以外の債券の時価総額を100%とした際のNDFカバー率です。  
\* NDFカバー率は、為替や債券価格の変動により、一時的に著しく低下したり、100%を超える場合があります。

### 【格付別構成比率】



\* 格付別構成比率は投資先ファンドの純資産総額をもとに算出した比率です。  
\* 四捨五入の関係上合計が100%にならない場合もあります。  
\* スタンダード・アンド・プアーズ社(S&P社)の債券格付けをもとに算出しています。  
\* 上記グラフの「格付けなし」はすべてムーディーズ社(Moody's社)の格付けを取得しています。  
\* 上記格付けは、スタンダード・アンド・プアーズ社(S&P社)から許諾されたブルームバーグの予想格付けを含む場合があります。

### 【業種別構成比率】



\* 業種別構成比率は投資先ファンドの純資産総額をもとに算出した比率です。  
\* 四捨五入の関係上合計が100%にならない場合もあります。  
\* 上記の業種は建銀国際アセット・マネジメントの業種区分に基づいています。

### 【投資先ファンドのポートフォリオ概要】

	ポートフォリオ
組入銘柄数	10
平均格付け	BBB+
平均直接利回り	5.45%
平均最終利回り	6.37%
平均デュレーション	4.66

\* 組入銘柄数は債券の組入銘柄数です。  
\* 平均格付けは、基準日時点のファンドが保有する債券のものであり、ファンドに係る信用格付けではありません。  
\* 平均格付けは、スタンダード・アンド・プアーズ社(S&P社)の格付けをもとに算出した平均格付けです。格付けなしの銘柄については、除いて算出しています。  
\* 利回り、デュレーションの計算は委託会社の見解に基づいて行っており、投資先ファンドの債券保有部分をもとに算出しています。  
\* 平均直接利回りは、各債券の直接利回りを加重平均しています。  
\* 平均最終利回りは、各債券の最終利回りを加重平均しています。  
\* 格付けは、スタンダード・アンド・プアーズ社(S&P社)から許諾されたブルームバーグの予想格付けを含む場合があります。

当資料は、新生インベストメント・マネジメント株式会社で作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料のいかなる内容も将来の投資収益を示唆・保証するものではありません。ファンドは、値動きのある資産(また、外貨建て資産の場合、この他に為替変動リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資信託をご購入される受益者のみなさまに帰属します。取得のお申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目録見書)をお渡ししますので必ず内容をご理解の上、ご自身でご判断ください。投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また元本や利回りの保証はありません。販売会社が登録金融機関の場合は、証券会社と異なり、投資者保護基金の補償の対象ではありません。投資信託のお申込み時には購入時手数料、ならびに運用期間中は運用管理費用(信託報酬)等がかかります。

# 中国人民元マネジメント債券ファンド (毎月決算型)

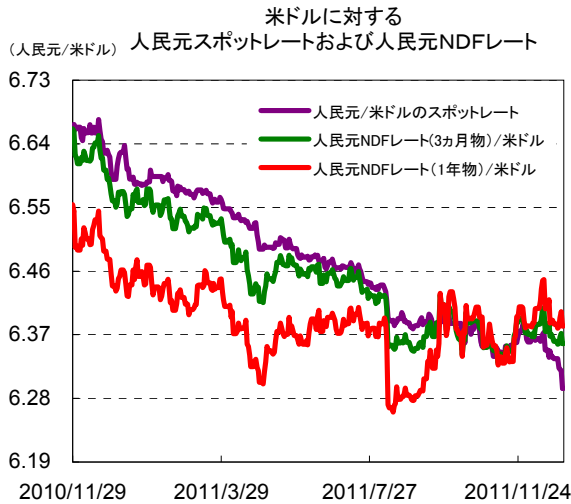
追加型投信 / 海外 / 債券

月次レポート 3/8  
2011年12月30日現在

## 【投資先ファンド(CCBI China Value Bond Fund)の状況】

(ご注意)以下のデータは当ファンドの投資先ファンドであるCCBI China Value Bond Fundに関するものです。以下のデータは現地月末最終営業日の数値を使用しています。

### 【為替】(ご参考)



出所:ブルームバーグのデータをもとに新生インベストメント・マネジメントにて作成

## 【組入上位5銘柄の紹介】

	発行体	業種	クーポン	償還日	通貨	格付け (S&P)	格付け (Moody's)	発行体説明	組入比率
1	Metallurgical Corporation of China Ltd 中国冶金科工集団	金属製品・加工	4.88%	2016/07/29	米ドル	BBB-	Baa2	子会社を通じてEPCプロジェクト(エンジニアリング、調達、建設)を運営しています。主に冶金施設、天然資源探査、製造装置製作、不動産開発の分野を手掛けています。売上高は2,064億人民元(10年12月)。	9.5%
2	CNOOC Ltd 中国海洋石油	エネルギー	4.25%	2021/01/26	米ドル	AA-	Aa3	中国3大石油メジャーのひとつ。子会社を通じ、原油および天然ガスの探査、開発、生産、販売を手掛ける。従業員数4,650人(10年12月)。売上高1,831億人民元(10年12月)。	9.3%
3	Hongkong Electric Finance Ltd 香港エレクトリック・ファイナンス	公益	4.25%	2020/12/14	米ドル	A+	-	発電、電力供給事業、エンジニアリング・コンサルティング事業を展開するパワー・アセット・ホールディングス(旧香港エレクトリック・ホールディングス)の子会社で、パワー・アセット・ホールディングスの資金調達目的で創設された金融会社。	9.2%
4	Zijin Mining Group Co Ltd 紫金礦業	鉱業	4.25%	2016/06/30	米ドル	-	A1	金採掘会社。子会社を通じて、金やその他の鉱物資源の探査、採掘、精錬および販売を行う。	8.8%
5	China Resources Land Ltd 華潤置地	不動産	4.63%	2016/05/19	米ドル	BBB	Baa2	華潤置地 チャイナ・リソース・ランドは不動産会社。子会社を通じ、不動産投資、開発を手掛ける。企業融資および電気エンジニアリング・サービスも提供。従業員数12,537人(11年6月)。売上高257億香港ドル(10年12月)。	8.7%

\* 上記銘柄の説明は投資先ファンドにおける銘柄のご理解を深めていただくために作成したものです。当資料に記載された銘柄の上昇・下落を示唆するものではありません。また当資料に記載された銘柄への投資を推奨するものではありません。

\* 上記の業種は建銀国際アセット・マネジメントの業種区分に基づいています。

\* 組入比率は投資先ファンドの純資産総額をもとに算出した比率です。

\* 格付け(S&P)は、スタンダード・アンド・プアーズ社(S&P社)から許諾されたブルームバーグの予想格付けを含む場合もあります。

\* 人民元(米ドル決済型)とは、米ドルで決済される人民元建て債券のことをいいます。

出所:ブルームバーグのデータをもとに新生インベストメント・マネジメントにて作成

当資料は、新生インベストメント・マネジメント株式会社が作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料のいかなる内容も将来の投資収益を示唆・保証するものではありません。ファンドは、値動きのある資産(また、外貨建て資産の場合、この他に為替変動リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資信託をご購入される受益者のみなさまに帰属します。取得のお申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目録見書)をお渡ししますので必ず内容をご理解の上、ご自身でご判断ください。投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また元本や利回りの保証はありません。販売会社が登録金融機関の場合は、証券会社と異なり、投資者保護基金の補償の対象ではありません。投資信託のお申込み時には購入時手数料、ならびに運用期間中は運用管理費用(信託報酬)等がかかります。

# 中国人民元マネジメント債券ファンド (毎月決算型)

追加型投信 / 海外 / 債券

 月次レポート 4/8  
 2011年12月30日現在

現地月末最終営業日の中国人民元マネジメント債券ファンドの投資先ファンドの組入6位-10位の銘柄です。

	発行体	業種	クーポン	償還日	通貨	組入比率
6	CITIC Resources Holdings Limited	商品	6.75%	2014/05/15	米ドル	7.1%
7	Bank of China Hong Kong Limited	銀行	5.55%	2020/02/11	米ドル	6.9%
8	Renhe Commercial Holdings	不動産	11.75%	2015/05/18	米ドル	6.2%
9	Hutchison Whampoa Limited	複合	6.50%	2013/02/13	米ドル	4.6%
10	CLP Holdings Limited	公益	4.75%	2021/07/12	米ドル	1.9%

出所: Bloombergをもとに新生インベストメント・マネジメントにて作成

\*上記銘柄の説明は投資先ファンドにおける銘柄のご理解を深めていただくために作成したものです。当資料に記載された銘柄の上昇・下落を示唆するものではありません。また当資料に記載された銘柄への投資を推奨するものではありません。

\*組入比率は投資先ファンドの純資産総額をもとに算出した比率です。

\*上記の業種は建銀国際アセット・マネジメントの業種区分に基づいています。

## 中国人民元マネジメント債券ファンド(毎月決算型)

追加型投信 / 海外 / 債券

月次レポート 5/8  
2011年12月30日現在

以下のコメントは、当ファンドの投資先ファンドであるCCBI China Value Bond Fundの運用担当者のコメントをもとに作成したものです。また、下記の見通しは当資料作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更される場合がありますのでご注意ください。

## 【投資環境】

2011年12月のアジア社債市場では、高格付け社債のスプレッドは縮小したものの、高利回り社債のスプレッドはほぼ変わりなく市場のセンチメントはまちまちでしたが、年末を迎えることや、流動性の低下により、全体的に買い意欲は低下しました。多くの投資家は、依然として欧州債務危機問題を警戒しており、リスク回避姿勢をとっています。

マクロ面では、中国の消費者物価指数(CPI、以下「CPI」といいます。)上昇率と生産者物価指数(PPI、以下「PPI」といいます。)上昇率は市場予測よりも低く改善が見られました。11月のCPI上昇率は市場予測の前年同月比4.5%に対し、同4.2%となりました。11月のPPIは市場予測の前年同月比3.4%に対し、同2.7%となりました。

さらに、12月の製造業購買担当者指数は50.3と50を上回る数値となりました。建銀国際アセットでは、政策に関するニュースはネガティブなものからポジティブなものに転換するであろうと見ているものの、不動産セクターに関しては、不動産市場にかかる規制が続くものと想定し、引き続き懐疑的に見えています。また、2012年の前半に多くの信託会社の債券が満期を迎えるものの、現在の環境下での借り換えは難しくなることが予測されます。

建銀国際アセットでは欧州の2012年第1四半期に関して、昨年よりも困難な局面を迎えるのではないかと見えています。緊縮政策が経済にマイナスの影響を及ぼし、欧州経済はもう一段の減速となる可能性があるためです。欧州諸国の財政圧力や欧州の国債に対する懸念が近々さらに高まっていくことも予測されます。

## 【運用経過と今後の見通し】

12月の投資先ファンドでは、依然として市場環境が不透明であることから、先月に引き続きキャッシュ比率を高くしています。しかし、一方で中国国内のリスクに関して市場の見方は幾分楽観的であることから、2012年第1四半期におけるリスクについての見方は修正されるのではないかと考えられます。

建銀国際アセットでは、不動産セクターと金融セクターに関しては今後市場の調整があった場合には、他のセクターに対して、アンダーパフォームすると予測しています。特に、不動産セクターに関しては、2012年前半の借り換えに対する懸念があり、特に中小の不動産開発業者がデフォルトに陥る可能性があります。また、金融セクターについても非常に懐疑的に見えています。ここ数年は、マネーサプライの拡大によりデフォルトはなく、高利回り社債と投資適格債のスプレッドの差は非常に小さくなっています。しかし、今後、マネーサプライの成長が減速し、流動性が逼迫していくと、信用リスクの高い債券でのデフォルトが発生する可能性が高まり、この結果金融セクターを中心に市場の価格変動が高まるものと見えています。

投資先ファンドでは、引き続き高利回り社債への投資比率を引下げ、高格付けの債券への投資を行います。

## 中国人民元マネジメント債券ファンド(毎月決算型)

追加型投信 / 海外 / 債券

月次レポート 6/8  
2011年12月30日現在

## 【投資リスク】投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

当ファンドの主なリスクは以下のとおりです。

\* 以下に記載するリスクおよび留意点は当ファンドのリスクおよび留意点を完全に網羅しておりませんのでご注意ください。

ファンドのリスクは以下に限定されるものではありません。

当ファンドは、組入れた有価証券等の値動きにより、基準価額が大きく変動することがあり、投資元本を割込むことがあります。

## 1. 価格変動リスク(金利変動リスク)

当ファンドは、主として投資信託証券を通じて公社債に投資します。公社債の価格は、一般的には金利が低下した場合は上昇し、金利が上昇した場合は下落します。また発行体が財政難や経営不安となった場合などは大きく下落したり、倒産等に陥った場合などは無価値となる場合もあります。実質的に組入れた公社債の価格の下落は基準価額が下がる要因となり、その結果投資元本を割込むことがあります。また当ファンドは、先進国の債券に比べ、市場規模や取引量が比較的小さい国・地域の公社債を実質的な投資対象としますが、そうした公社債の価格は大きく変動することがあります。さらに流動性が低いため、想定する債券価格と乖離した価格で取引しなければならない場合などがあり、そうしたことが基準価額の下落要因となり、その結果投資元本を割込むことがあります。

## 2. 為替変動リスク

当ファンドは、実質的に外貨建て資産に投資しますので、投資した資産自体の価格変動のほか、当該資産の通貨の円に対する為替レートの変動の影響を受け、基準価額が大きく変動し、投資元本を割込むことがあります。為替レートは、各国の経済・金利動向、金融・資本政策、為替市場の動向など様々な要因で変動します。また当ファンドは、先進国の金融商品市場に比べ、市場規模や取引量が比較的小さい国・地域を実質的な投資対象としますが、そうした国・地域の為替相場は大きく変動することがあります。さらに、流動性が低いため、想定する為替レートと乖離したレートで取引を行わなければならない場合などがあり、それらが基準価額の下落要因となり、その結果投資元本を割込むことがあります。

## 3. カントリーリスク

当ファンドは、実質的に海外の資産に投資します。このため、投資対象国・地域の政治・経済、投資規制・通貨規制等の変化により、基準価額が大きく変動することがあり、投資元本を割込むことがあります。特に新興国は、先進国と比較して、一般的には経済基盤が脆弱であるため、経済状況等の悪化の影響が大きくなり、そのため金融商品市場や外国為替市場に大きな変動をもたらすことがあります。また政治不安などが金融商品市場や外国為替市場に大きな変動をもたらすことがあります。先進国と比較し、経済状況が大きく変動する可能性が高く、外部評価の悪化や経済危機等が起こりやすいリスクもあります。さらに大きな政策転換、規制の強化、政治体制の大きな変化、テロ事件などの非常事態により、金融商品市場や外国為替市場が著しい悪影響を被る可能性があります。自然災害の影響も大きく、より大きなカントリー・リスクを伴います。

## 4. 信用リスク

当ファンドは、実質的に組入れた有価証券等の発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに対する外部評価の変化等により基準価額に影響を受け、投資元本を割込むことがあります。特に新興国は先進国に比べ、発行者の経営・財務状況の急激な悪化や経営不安・破綻が起こりやすいリスクがあります。

## 5. その他

金融商品取引所等の取引停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情がある場合等は、受付を中止することやあるいは既に受付けた注文を取消すことがありますのでご注意ください。また投資信託に関する法令、税制、会計制度などの変更によって、投資信託の受益者が不利益を被るリスクがあります。人民元のNDF(ノン・デリバブル・フォワード)市場の動きは、人民元の直物為替市場の動きと異なり、場合により逆方向となることもありますのでご注意ください。NDFの価格は需給や市場参加者の期待等によって変動するため、中国の国内金利と米ドル金利の金利差から想定される水準とは大きく乖離することがあります。

# 中国人民元マネジement債券ファンド(毎月決算型)

追加型投信 / 海外 / 債券

 月次レポート 7/8  
 2011年12月30日現在

## 【お申込みメモ】投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

ファンド名	中国人民元マネジement債券ファンド(毎月決算型)
商品分類	追加型投信/海外/債券
当初設定日	2010年11月29日(月)
信託期間	原則として、2020年11月10日までとします。 ※受益者に有利であると認めるときは、受託会社と合意のうえ、信託期間を延長できます。
決算日	原則として、毎月10日(休業日の場合は翌営業日)とします。
購入・換金 申込不可日	販売会社の営業日であっても、下記のいずれかに該当する場合は、購入および換金のお申込みはできません。 ●ニューヨークの銀行休業日およびその前営業日 ●香港の銀行休業日およびその前営業日 ●シンガポールの銀行休業日およびその前営業日
申込締切時間	午後3時まで、販売会社が受けた分を当日のお申込み分とします。
購入・換金単位	販売会社が定める単位とします。
収益分配	年12回の決算時に、原則として収益の分配を行います。 ※分配金を受け取る「一般コース」と自動的に再投資される「自動けいぞく投資コース」があります。なお、どちらか一方のコースのみのお取扱いとなる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額(当該基準価額に、0.5%の率を乗じて得た額)を控除した価額とします。
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して、7営業日目からお申込みの販売会社でお支払します。
課税関係 (個人の場合)	課税上は株式投資信託として取扱われます。収益分配時の普通分配金、換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

### 【直接的にご負担いただく費用】

購入時手数料	購入価額に3.675%(税抜3.5%)を上限として、販売会社が独自に定める率を乗じて得た額とします。
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に0.5%の率を乗じて得た額をご換金時にご負担いただきます。

### 【信託財産で間接的にご負担いただく費用】

運用管理費用 (信託報酬)等	純資産総額に対して年率1.7895%程度(税込) * 当ファンドの運用管理費用(信託報酬):年率1.0395%(税抜0.99%)、投資先ファンドの運用管理費用(信託報酬):年率0.75%を合算したものがお客様に実質的にご負担いただく費用の概算値です。
その他費用・手数料	当ファンドからは、財務諸表監査に関する費用等の諸費用、信託事務の処理に要する諸費用等、投資先ファンドからは保管報酬、事務処理に要する諸費用、組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料およびファンド設立費用等が支払われます。 ※「その他の費用・手数料」は、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を表示することができません。

なお、お客様にご負担いただく費用等の合額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

## 中国人民元マネジメント債券ファンド(毎月決算型)

追加型投信 / 海外 / 債券

月次レポート 8/8  
2011年12月30日現在

## 【委託会社、その他関係法人】

委託会社 新生インベストメント・マネジメント株式会社(設定・運用等)  
03-6880-6448(受付時間:営業日の9時~17時)  
ホームページアドレス: <http://www.shinsei-investment.com/>  
登録番号 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第340号  
加入協会 社団法人投資信託協会  
社団法人日本証券投資顧問業協会(協会会員番号 第011-01067号)

受託会社 株式会社りそな銀行(信託財産の管理等)  
販売会社 下記参照(募集・換金の取扱い・目論見書の交付等)

(2012年1月16日現在)

金融商品取引業者名(五十音順)		登録番号	日本証券業協会	(社)日本証券投資顧問業協会	(社)金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
安藤証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第1号	○		○	
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	
香川証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長(金商)第3号	○			
株式会社新生銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○	
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第24号	○		○	
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	○			
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○		○	
三田証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第175号	○		○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○		○	

当資料は、新生インベストメント・マネジメント株式会社で作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料のいかなる内容も将来の投資収益を示唆・保証するものではありません。ファンドは、値動きのある資産(また、外貨建て資産の場合、この他に為替変動リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて投資信託をご購入される受益者のみなさまに帰属します。取得のお申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご理解の上、ご自身でご判断ください。投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また元本や利回りの保証はありません。販売会社が登録金融機関の場合は、証券会社と異なり、投資者保護基金の補償の対象ではありません。投資信託のお申込み時には購入時手数料、ならびに運用期間中は運用管理費用(信託報酬)等がかかります。